

日本学術会議社会学委員会「Web 調査の課題に関する検討分科会」

(第 24 期・第 1 回会合)

平成 30 年 2 月 23 日 (金) 於日本学術会議 5-C(2)会議室 14:00-16:00

議事録

出席者：遠藤薫、佐藤嘉倫、石井クンツ昌子、今田高俊、大谷信介、川端亮、吉川徹、
盛山和夫、前田忠彦

欠席者：玉野和志

議題と決定事項

(1) 委員長の選出、副委員長・幹事の指名

委員長に佐藤委員、副委員長に吉川委員、幹事に今田委員、石井委員が就任することとなった。

(2) 分科会の運営方針と意見交換

- ・ 今田委員から本分科会の立ち上げの背景と趣旨の説明があった（配布資料「回収率と代表性」今田 2017）。背景としてローコストや迅速性などから Web 調査が普及してきていることがあげられるが、Web 調査で従来の回収率と代表性の問題をいかに克服できるかの検討が必要である。
- ・ 本分科会の取組についての意見交換があった。具体的には、Web 調査のモニター利用による非確率サンプリングの問題、伝統的な社会調査を逸脱しない Web 調査の利用法、Web 調査の有効活用の方法、Web 調査の多様性、調査会社との連携による Web 調査の透明性の確保、地方自治体における Web 調査の現状、クラウドソーシングによる調査などの話題が出た。Web 調査においては、方法論だけではなく、理論的なバックグラウンドの展開も必要であるとの意見もあった。
- ・ 本分科会としてシンポジウムや勉強会を開催するなどの提案もあった。
- ・ 次回の分科会では調査モードに詳しい方から専門的な知見を提供してもらうことになった。

(3) 特任連携会員について

今期 1 名、特に多様な調査モードに詳しい方を特任連携会員として推薦することとした。

(4) その他

5～6 月に次回の会合を持つこととした。詳細は後日決定。